

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

経営者には理念・哲学が必要 伊丹 敬之 (東京理科大学教授)

1. 変動していく世の中、しかも国境を超えて経営が広がっていく世界では、経営の具体策は当然に、その変化し、広がってゆく環境の状況にマッチしたものでなければならない。しかし同時に、たとえ時代が変わっても、事業活動する国が拡大していても、自分の企業としての理念や原理をもち続けたい、あるいは経済の原理原則には従わねばならない。つまり「経営の具体策＝環境×原理」という公式で考えるのが、経営の原点である。
2. そうした原理の発想の原点になりうる言葉として、渋沢栄一の、「合点するもののみを、取り入れよ」という言葉が重い。渋沢栄一は、自分の経営の原理を中国の古典「論語」に求めた。本田宗一郎は、人生は見たり聞いたり試したりの三つからなっているが、最後の「試したり」が多くの人に足りない、という。その後の口癖は、「やってみもせんで、何がわかる」だった。
3. 日本企業には、漂流しない原理がほしい。地球儀をきちんと見据えた論理をもたなければならない、そのためには、経営者に理念と哲学が必要である。本田宗一郎は理念や哲学を大切にした人だった。彼曰く、「理念なき行動は凶器であり、行動なき理念は無価値である」。 (参考:「Voice」2011年3月号)

幹部への活きた言葉

事業リーダーに必要な7つの技術

1. 先ずは、直感的に何が必要か、何が儲かるかを見抜き「コンセプト」を打ち出す技術。「コンセプト」が浮かんだら、その構成要素と関連性を全体図として、誰にでもわかる絵にします。それが「デザイン」です。そして最も重要で覚悟が必要なのが、どこに「フォーカス」するかを決める技術です。
2. その後、絞り込んだからこそできる商品や売り方の「プラン」を作り、さらに組織的な行動に移すための「パッケージ」を作ります。そのうえで、皆がわくわくする面白い「ストーリー」に仕上げ、繰り返し語りながら、日々地道にコツコツと実行されているかどうかを「マネジメント」していきます。

(参考:「週刊東洋経済」:2011年1月8日号)

新規成長分野

ヒットは決断と柔軟性の結晶

1. パナソニックの携帯型電動歯ブラシ「ポケットドルツ」は2008年、牛丸俊三副社長(当時)が問題意識がきっかけとなった。持ち運びに向くキャップ一体型と小型軽量にこだわった。2010年4月から10月までで100万台を販売するヒットぶりだ。当初は、男性向けに「万年筆型」として開発する予定だった。男性がスーツの中に入れて出張先や外出先で使用することを想定していたからだ。
2. しかし調査を進めると、女性社員から「トイレで昼休みに歯磨きをしている女子が多い」という発言が飛び出す。そこで一気に軌道修正し、20代OLをターゲットに設定。サイズは化粧ポーチに入る16cm以内とし、ピンクを基調としてマスカラ風などデザインにこだわった。ヒットは決断と柔軟性の結晶といえる。 (参考:「日経ビジネス」2010年12月20・27日号)

古典に学ぶ

尽くすべき手立てを尽くす

「人の患難に於ける、只だ一箇の処置あり。人謀を尽くすの後は、却ってすべからく泰然としてこれに処するべし」

(訳) 儒教の原典の一つである「近思録」にある言葉です。逆境に陥ったとき、どう対処するのか、その心構えについて語っています。わかりやすく訳しますと、「困難に見舞われたとき、対処する道はただ一つである。なすべき手立てを講じたら、あとは天にゆだねて泰然と対処しなければならない」となります。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)